



2026年6月・7月受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室



将軍の港兵庫・神戸

高久智広/編
戎光祥出版

羽柴秀長文書集

黒田基樹 柴裕之
東京堂出版

なんで信長はお城を建てたの？

畑中英二
新泉社

羽柴秀長と竹田城

朝来市埋蔵文化財センター

徳川家光公伝

広野三郎
吉川弘文館

国替の誕生

藤田達生
塙書房

広島藩の幕末維新史

黒田和子
戎光祥出版

戦国山城を攻略する

森本基嗣
吉備人出版

戦国武将列伝 別巻2 豊臣編

黒田基樹 芝裕之/編
日地出版

図解文化財の見方

人見春雄 野呂肖生 毛利和夫/編
山川出版社

大奥の秘事

高柳金芳
雄山閣

高松 海城町の物語

西成典久
瀬戸内人

和歌山城郭研究 第25号

和歌山城郭調査研究会

膠へのまなざし

内田あぐり/監
国書刊行会

今月のおすすめ本紹介！！

重要文化財箱木家住宅・古井家住宅調査報告書

神戸市 姫路市教育委員会

令和 8 年 5 月 22 日、国の文化審議会が姫路市安富町の古井家住宅を神戸市北区の箱木家住宅とともに国宝指定するよう答申しました。いずれも室町時代の現存する最古級の民家で「千年家」の愛称で親しまれ、民家で国宝指定を受ける初めての事例になります。

建物の文化財的価値を裏付けるため、姫路市と神戸市の合同で調査を行い、放射性炭素年代調査による伐採年代の特定など、科学的な手法も用いて建築史的な価値が明らかになりました。本書には調査内容の詳細がまとめられています。

東大寺の暗号

関裕二 講談社

東大寺の建立や再建の歴史を軸に、古代の政争や権力関係の謎が読み解かれています。東大寺を単なる大仏や古建築のお寺として見るのではなく、国家の成り立ちや歴史の転換を映し出す存在として捉えている点が印象的です。一般に知られている歴史を別の角度から見直すことで、東大寺だけでなく奈良の史跡を訪ねる際にも、新たな発見や興味が生まれるのではないかと思います。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2 階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9：00～12：00 13：00～17：00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2 階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>